

『プリキュア』に見る髪色とキャラクターの特徴の関連性

著者	崎田 皐月
雑誌名	論文集 / 金沢大学人間社会学域経済学類社会言語学演習 [編]
巻	13
ページ	65-80
発行年	2018-03-22
URL	http://doi.org/10.24517/00050892



『プリキュア』に見る髪色とキャラクターの特徴の関連性

経済学類4年 崎田 皐月¹

<概要>

アニメの主人公キャラクターたちは、キャラクターの区別をするにあたって、ユニフォームや髪色などにキャラクターの特徴に適した色を使用している。例えば、リーダー格で熱血男タイプを赤、クールでサブリーダー的なタイプを青などだ。本稿では、色の印象とキャラクターの特徴を表現する色には関連性があると仮説をたて、アニメ『プリキュア』シリーズを調査対象とした研究を行う。また、本稿ではキャラクターの髪色に注目する。これは、コスチュームよりもキャラクター自身に使用されている色の方がキャラクターそのものを表現すると考えたからだ。色の非言語コミュニケーションとしての重要性を、キャラクターの髪色の観点から分析する。

<キーワード>

髪色、キャラクター特徴、非言語コミュニケーション

¹ ssmemei0516@gmail.com

<目次>

0.はじめに

1.背景と目的

1-1.背景

1-2.目的

2.先行研究

2-1.色彩

2-2.戦隊ヒーロー

3.問題提起と仮説

4.作業仮説

5.材料と方法

6.結果と考察

6-1 アンケート結果と考察

6-2 色ごとの印象差

6-3 色彩増加に伴うキャラクターの細分化

7.おわりに

参考文献

0. はじめに

本論文では、アニメ『プリキュア』を用い、主人公キャラクターの髪色と、それぞれの性格特徴の関連性を調査する。キャラクターのコスチュームの色に注目した論文は存在するが、キャラクター本人の髪色に注目した研究はない。本稿はキャラクターの性格特徴と色との関係を具体的に検証する。色に対する印象と、キャラクターの特徴が一致しているということを確認し、色の非言語コミュニケーションとしての重要性を明らかにする。

1. 背景と目的

1-1. 背景

2016 年度合同ゼミ合宿で、戦隊ヒーローと役割ことばについてまとめた発表を聞いた。戦隊ヒーローのコスチュームの色に注目し、色ごとの性格そして、それらの役割ことばについてまとめたものであった。当時、共同論文で色と企業のロゴマークの関係性を調査していたこともあり、非常に興味を抱く内容であった。

1-2. 目的

キャラクターの特徴と、キャラクターに使用されている髪色の関係を調査することを目的とし、『プリキュア』の主人公キャラクターで調査を進める。色彩をキャラクターの構成要素の1要因として、分かりやすく使用したのは、1975 年放送の『秘密戦隊ゴレンジャー』だ。当時、日本の一般家庭でカラーテレビを持つ世帯が90%を超えたこともあり、番組制作者の発想で戦隊レンジャーの個性を変身時のマスクやコスチュームの色で表現するようになった。メンバーの色分けは、リーダー格で熱血男タイプの赤、知的でクールな影でメンバーを支えるサブリーダーの青、力持ちでチームのムードメーカーの黄色、紅一点ながらも戦闘能力は男性に引けをとらない桃色、最年少で自然を愛する努力家の緑色の5人でチームが構成されていた(図1を参照)。『秘密戦隊ゴレンジャー』以降、1年間ごとに製作される戦隊ものでは、赤・青・黄・桃・緑をベースとしたバランスを崩すことなく主役キャラクターが登場するようになった。



図1. 『秘密戦隊ゴレンジャー』1

1990 年代になると、少女漫画の金字塔といわれる『美少女戦士セーラームーン』がテレビアニメ化されるようになった。このアニメは、ターゲット層を主に男児を対象とする戦隊ものと異なり、少女を中心に大人の女性や男性の間にまで広く人気を博し、単なる少女漫画や

アニメの域をはるかにこえた社会現象となった(図²を参照)。平成 18 年時点で、25 周年を迎え長く愛されてきたセーラームーンシリーズは、世界でも認知されるようになり、2017 年のフィギュアスケートのエキシビション「ドリーム・オン・アイス」では、16 歳の世界女王エフゲニア・メドベージェワ選手 (Evgenia Medvedeva) がセーラームーンの姿に扮し曲に合わせながら、「月に代わってお仕置きよ！」の日本語セリフを放ち会場を大いに盛り上げた(図 3 を参照)。



図 2. 『美少女戦士セーラームーン』³



図 3. Evgenia Medvedeva 選手⁴

このアニメのキャラクターたちの髪色に使用されている色に注目してみると、色と名前、加えて『セーラームーン』というタイトルに基づき、「月」をはじめ「惑星」が大きく関係していることが分かる。例えば、主人公月野ウサギは、月を連想できる黄色を髪色に使用するとともに、月でウサギが餅つきをするといった日本古来の言い伝えをウサギという名前と共に表現している。水野亜美 (セーラーマーキュリー) は、水星の英語表記 (Mercury) とともに水を連想させる青を髪色に使用している。また、それらは彼女たちの特徴も表現しており、「冷静」「知的」などの印象を与える青を使用することで、水野亜美を構成するためには欠かせない要素にもなっている。そこで本稿では、色とそれぞれのキャラクターごとの特徴には何らかの関係性があると仮定し、改めて性別ごとで色に対するイメージ調査を行う。それにより、イメージの明確化と、歴代キャラクターの特徴を照合し、どれほどの割合で色の印象がキャラクターの特徴を表しているのかを明らかにする。

2. 先行研究

2-1. 色彩関連

『デジタル大辞典』では、色について次のように定義づけられている (1 ページ)。

² 「東映ビデオ株式会社」ホームページより引用 <https://www.toei-video.co.jp/special/gorenger/>

³ 「美少女戦士セーラームーンクリスタル」より出典 <https://prettyguardians.com/>

⁴ 「世界の動画 YouTube でリアルな世界の「今」を知ろう！」 <http://sekaino.info/303998>

I.⑦光の⇒波長の違い（色相⁵）によって目の受ける種々の感じ。

原色のほか、それらの中間色があり、また、明るさ（明度⁶）や鮮やかさ（彩度⁷）によって異なって感じる。色彩。「－が薄い」「暗い－」「落ち着いた－」

物体の色は、光、物体、視覚の3つの要素が組み合わさることにより生まれる感覚体験である。1つでも変化すれば色の見え方は変わる。光が物体に当たり、反射した光を網膜で受光し、その光の刺激が脳に伝達されることで人間は色を感じることができる（図4を参照）。そして、色や形の認識を経て、暖かさや、美味しそうなどの感情をイメージする。イメージした感情と、脳に記憶されている情報とを照合させることによって情報の意味づけや、判断が下されるのだ。

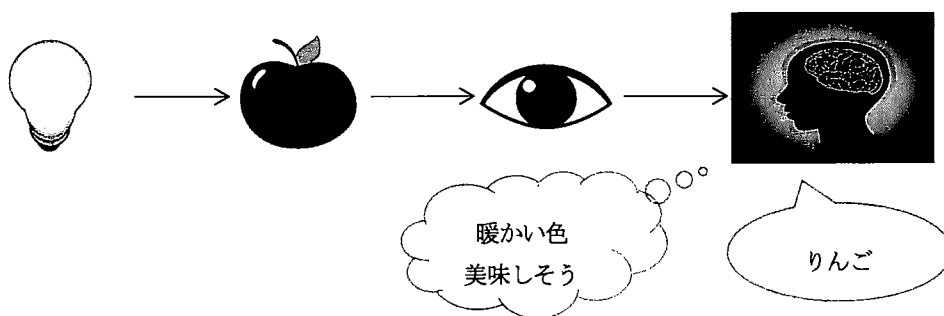


図4 色の見え方について

宮田(2014)は、色について、「色とは人の心に関わり、喜・怒・哀・楽の情を起こさせるものであり、また、そうした色彩感情は人知の発達とともに概念化され、社会で象徴的に用いられるようになった。」と述べている（47-75）。また、近江(2009)は、色の種類は現在人が見ることができる可能な条件さえ整えば、750万色、通常の状態では187万5000色が存在すると述べている。どうりで色鉛筆をとっても、表現できる色の種類が多く細かい色の違いで表現力に特徴を与えるものである。色の数だけ感情が存在し、人々の感情表現がかなり豊かなものであるということだ。日本の色の歴史においても、例えば、冠位十二階の制度では、冠の色で位階を表すようになり、色が地位や身分を象徴する重要なものとして扱われていたことなどを見ると、色ははるか昔から何かしらの意味を持ち、非言語コミュニケーションとして重宝されていたことが分かる。

⁵ 色合い・色調

⁶ 色の明るさの度合い

⁷ 色の鮮やかさの度合い

⁸ 色の見え方について筆者が作成

また、土居(2000)は、髪色は人物の印象に影響を与えると述べている。矢田部-ギルフォード検査から導かれる性格の5類型を参考にまとめ、平均型を除く4類型に対応させた「熱血」「クール」「優しい」「ユニーク」の4印象語を、性格印象を表す語とした。結果、「熱血」では、赤が43%と最も多く、「クール」では白が24%、「優しい」では茶が28%、「ユニーク」では桃色が32%と最も多い結果になった。

2-2. 戦隊ヒーロー

高橋 (2015) はスーパー戦隊シリーズのヒーローについて、登場するメンバーに色が割り振られている点は、典型的な「色=特定のイメージ」が成り立っているもののひとつであると指摘している。また、色はあらゆる意味で、日本人に浸透している分別記号のひとつであると述べている。また、歴代戦隊ヒーローのコスチュームを抽出、研究対象とした結果、赤はリーダー格、センターポジションの熱いタイプ、青は冷静沉着、クールな二枚目タイプ、黄は戦略を練る知性派タイプ、桃はかわいいだけでなくこのように、凛々しさを併せ持つ癒しタイプ、緑は平和を願う気づかいタイプと述べている。この先行研究では、男女混合グループの中でのキャラクターの属性について調査しており、性別を一つに絞った場合、色彩が持つ印象は変化する可能性がある。つまり女性限定で構成されているキャラクターの色彩構成は、意味があると考える。また、コスチュームではなく、髪色に特定して調査をするため、より深く調査ができるだろう。

また、足立 (2015) は、主人公が2人組である『ふたりはプリキュア』から、『Yes!プリキュア5』では主人公が5人組に変わったことについて、初期は登場人物たちの髪の色は基本的に黒か茶色であり、現実の日本人と同じ色をしていたのだが、5人に増えてからは、ピンクや紫、青など現実にはあり得ない色をしていた。つまり、『Yes!プリキュア5』で、『プリキュア』シリーズの登場人物は現実離れた色彩の使用により、キャラクターそれぞれを区別するポイントが増えたことが分かると述べている (図5を参照)。



図5: 『ふたりはプリキュア』⁹



図6: 『Yes!プリキュア5』¹⁰

⁹ 「ふたりはプリキュア」公式サイト http://www.toei-anim.co.jp/tv/f_precure/

¹⁰ 「Yes!プリキュア5」公式サイト http://www.toei-anim.co.jp/tv/yes_precure5/

3. 問題提起と仮説

時代と共に、戦隊ものに登場するヒーローたちに用いられる色は、少しずつ増加してきた。それに伴い、キャラクターの役割や特徴の区別がさらに細かく表現できるようになった。キャラクターの特徴も時代の経過と共に、「活発」「クール」等の抽象的なものから、「泣き虫」「面倒見がいい」といった人間性を表現した特徴が増加したことから、色は非常に重要な役割を担っているといえる。そこで、以下の仮説を立てる。

1. キャラクターの色分けによる特徴表現が必要になった。
2. キャラクターが増えたことで、それまで一人のキャラクターが担当していた特徴を数人で分担している。

本稿では、その色分けによるキャラクターの特徴の表現が、どの程度人間が色からイメージできる印象と合致しているのかを調査する。また、色に対するイメージを調査するに当たり、男女間でどのような差があるのかについても着目する。男女間の印象差は戦隊ヒーローのメインカラーとされてきた、赤・青・黄・緑・桃ではあまり見られないとし、その他直近にて出現した色、つまりオレンジや紫に対する印象差はある程度みられると仮定する。以上の仮説をもとに調査を進める。

4. 作業仮説

まず、色の印象に対する作業仮説を、調査項目とした「熱血」「クール」「穏やか」「明るい」「優しい」「ミステリアス」「頭脳明晰」を基に以下のように設定する。

色	印象
黄	頭脳明晰
紫	ミステリアス
桃	優しい
赤	熱血
青	クール
緑	穏やか
オレンジ	明るい

5. 材料と方法

- ・男女間の色に対する印象調査の材料

『プリキュア』シリーズの第3シリーズ以降の主人公キャラクターの髪色。コスチュームではなく髪色に設定した理由は、キャラクターを構成する数ある要素のうち、コスチュームは稀にワンポイント的な要素として使用されており、キャラクターの差別化も明確にしにくいと考えた。それに対して、髪の色はキャラクターを一目見たときに一番に印象に残るポイントではないかと考えたからだ。これは、第1、第2シリーズで使用された色彩（黒・茶）に関しては、この2回分でしか登場しないため。

・色彩印象を回答する際の選択項目

共同論文¹¹にて、ロゴマークの色彩を基にした色の印象データを使用する。A「熱血」 B「クール」 C「穏やか」 D「明るい」 E「優しい」 F「ミステリアス」 G「頭脳明晰」

・調査対象者

北陸地方の学生 100 人（男 50 人、女 50 人）

6. 結果と考察

歴代のプリキュア放送年、タイトル、シリーズディレクター、シリーズ構成、キャラクターデザインを表 1 にまとめる。

表 1. 歴代プリキュアまとめ

	年	タイトル	シリーズディレクター	シリーズ構成	キャラクターデザイン
1	2004/2/1- 2005/1/30	ふたりはプリキュア	西尾大介	川崎良	稲垣晃
2	2005/2/6- 2006/1/29	ふたりはプリキュア MaxHeart	西尾大介	川崎良	稲垣晃
3	2006/2/5- 2007/1/28	ふたりはプリキュア SprashStar	小村敏明	長津晴子/成田好美	稲垣晃
4	2007/2/4- 2008/1/27	Yes!プリキュア 5	小村敏明	成田好美	川村敏江
5	2008/2/3- 2009/1/25	Yes!プリキュア 5GoGo!	小村敏明	成田好美	川村敏江
6	2009/2/1- 2010/1/30	フレッシュプリキュア!	志水淳児/座古明史	前川淳	香川久
7	2010/2/7- 2011/1/30	ハートキャッチプリキュア!	長峰達也	山田隆司	馬越嘉彦
8	2011/2/6- 2012/1/29	スイートプリキュア♪	境宗久	大野敏哉	高橋晃
9	2012/2/5- 2013/1/27	スマイルプリキュア!	大塚隆史	米村正二	川村敏江
10	2013/2/3- 2014/1/26	ドキドキ!プリキュア	古賀豪	山口亮太	高橋晃
11	2014/2/2-	ハピネスチャージプリキュア!	長峰達也	成田好美	佐藤雅将
12	2015/2/1- 2016/1/31	Go!プリンセスプリキュア	田中裕太	田中仁	中谷友紀子
13	2016/2/7-	魔法つかいプリキュア!	三塚雅人	村山功	宮本絵美子

¹¹ 浅野峻祐・有澤優佳莉・崎田皐月・高橋美穂・平岡緋奈子・深谷美都季・牧田理沙「ロゴマークの色彩とイメージ」金沢大学人間社会学域経済学類社会言語学演習『論文集』第 12 巻, 2017, pp. 33-54.

14	2017/2/5-	キラキラ☆プリキ ュアラモード	暮田公平/貝澤 幸男	田中仁	井野真理恵
----	-----------	--------------------	---------------	-----	-------

表2. 『プリキュア』全14シリーズ主キャラクタカラーの使用色表

	茶	黒	黄	紫	桃	赤	青	緑	オレンジ
「ふたりはプリキュア」	○	○							
「ふたりはプリキュアMax Heart」	○	○	○						
「ふたりはプリキュアSplash Star」				○					○
「yes!プリキュア5」			○		○	○	○	○	
「yes!プリキュア5 Go Go!」			○	○	○	○	○	○	
「フレッシュプリキュア!」			○		○				○
「ハートキャッチプリキュア!」			○	○	○		○		
「スイートプリキュア♪」			○	○	○				○
「スマイルプリキュア!」				○	○		○	○	
「ドキドキ!プリキュア」			○	○		○	○		○
「ハピネスチャージプリキュア!」			○	○	○		○		
「プリンセスプリキュア」			○	○					○
「魔法使いプリキュア!」			○	○	○				
「キラキラ☆プリキュアラモード」			○	○	○	○	○		○
使用頻度		2	2	10	9	10	4	9	3

6-1. アンケート結果と考察

表3. 男性アンケート結果

<男性>	黄色	紫色	桃色	赤色	青色	緑色	オレンジ色
A「熱血」	2%(1)	0%(0)	0%(0)	98%(49)	0%(0)	0%(0)	0%(0)
B「クール」	0%(0)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	96%(48)	0%(0)	0%(19)
C「穏やか」	6%(3)	0%(0)	18%(9)	0%(0)	0%(0)	38%(19)	38%(19)
D「明るい」	64%(32)	0%(0)	14%(7)	2%(1)	0%(0)	2%(1)	18%(9)
E「優しい」	12%(6)	2%(1)	50%(25)	0%(0)	2%(1)	14%(7)	20%(10)
F「ミステリアス」	2%(1)	94%(47)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	4%(2)	0%(0)
G「頭脳明晰」	14%(7)	2%(1)	16%(8)	0%(0)	2%(1)	42%(21)	24%(12)

表4. 女性アンケート結果

<女性>	黄色	紫色	桃色	赤色	青色	緑色	オレンジ色
A「熱血」	0%(0)	0%(0)	0%(0)	98%(49)	0%(0)	0%(0)	2%(1)
B「クール」	0%(0)	0%(0)	2%(1)	0%(0)	98%(49)	0%(0)	0%(0)
C「穏やか」	6%(3)	2%(1)	12%(6)	0%(0)	0%(0)	42%(21)	38%(19)
D「明るい」	70%(35)	0%(0)	10%(5)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	22%(11)
E「優しい」	8%(4)	0%(0)	64%(32)	0%(0)	0%(0)	8%(4)	22%(11)
F「ミステリアス」	0%(0)	98%(49)	2%(1)	0%(0)	0%(0)	0%(0)	0%(0)
G「頭脳明晰」	16%(8)	0%(0)	10%(5)	0%(0)	2%(2)	50%(25)	16%(8)

6-2. 色ごとの印象差

<黄色>

・黄色に対するそれぞれの印象は、男女ともにD「明るい」と回答した値が60%以上を上回る結果になった。また二番目以降の回答結果を見てみると、G「頭脳明晰」、E「優しい」C「穏やか」の四番目までは同一の結果がみられ、全体的に黄色に対しての男女間の大きな差は認められなかった。D「明るい」が最も多く解答された理由としては、太陽や月、星などの明るさがもとになっていると考える。太陽・月・星などは男女関係なく、日本人の感覚として黄色い明るさを脳内に記憶として保存されているのではないだろうか。

<紫色>

・紫色に対するそれぞれの印象は、F「ミステリアス」が最も多い回答結果になり、両者ともに90%以上と、これも黄色と同じく男女間での色彩の印象の差は存在しない。しかし、男性の方が女性の回答結果と比較して、F「ミステリアス」以外と回答したデータが多くみられた。男性の回答データで見られたB「クール」E「優しい」G「頭脳明晰」は、女性の回答結果には存在せず、女性の回答データで見られたC「穏やか」に関しても男性の回答データには存在しなかった。しかし、両者ともにF「ミステリアス」と回答した人のデータ以外はすべて1人ずつしか見られなかった為、ここでは紫色に対する印象差は見られないといいだろう。

<桃色>

・桃色に対するそれぞれの印象はE「優しい」が両者とも50%を超える結果になった。これに関しては、『秘密戦隊ゴレンジャー』の時代から大きく変わることのない、桃色といえば女の子らしいということをイメージさせてきた印象付けがもとになっているといえる。経年変化があまり見られない桃色の優しい印象はかなり強いもののだといえる。それに比べて、両者ともに残りの約50%の内訳は多項目に及ぶ点は、時代の変化と共に桃色が使用される用途の幅が拡大した背景があるのではないだろうか。

<赤色>

・赤色に対するそれぞれの印象はA「熱血」が両者ともに98%と最も多い回答結果になった。これに関しても、『秘密戦隊ゴレンジャー』時代のレッドの役割、リーダー格で熱血男タイプのイメージが今もなお深く私たちの中で残っているからだといえる。戦隊ものの主人公キャラクターの立ち位置を見ると必ず真ん中にいるのは赤色で、情熱的な人柄な登場人物が多い。

<青色>

・青色に対するそれぞれの印象は、B「クール」が両者ともに95%を超えていることから、男女間の印象の差はないといえる。これに関しては、G「頭脳明晰」と回答するデータが幾つか見られても不思議ではないと考えていたため、予想外のデータであった。B「クール」が最も多かった理由としては、飲料水に用いられるロゴのマークや、海や川など水に関係したものの存在があるといえる。

<緑色>

・緑系に対するそれぞれの印象は、C「穏やか」G「頭脳明晰」がそれぞれ約50%を占める結果になった。これまでの色と異なり、2項目の印象で50%ずつを占めているものは緑色だけであり、珍しい結果になったが、男女間で緑色に対する印象の差はみられなかった。

<オレンジ色>

・オレンジ色に対する印象結果は、黄色や紫色とは異なり数値がまばらになった。男女ともにC「穏やか」が最も多くみられたものの、どちらも38%と、二番手以降の回答結果との数値の差も大して見られなかった。また、男女ともにオレンジ色に対する印象の回答項目は多数に及び、性別に関係なく、オレンジ色に対する印象が未だはっきりとついていないといえる。全体で見るとオレンジ色に対する印象はC「穏やか」D「明るい」E「優しい」G「頭脳明晰」に両者とも固まっていることから、はっきりとした印象はないものの、だいたい同じような印象を抱えていることが分かる。

以上が色彩の男女による印象の違いである。まとめると、すべての色において男女とも同じ項目を選択しており、黄がD「明るい」、紫がF「ミステリアス」、オレンジがC「穏やか」、青がB「クール」、桃がE「優しい」、赤がA「熱血」、緑がG「頭脳明晰」という結果になった。表5と照らし合わせてみると、色彩調査で回答を得た項目が、それぞれの色彩に該当していることが分かる。

6-3. 色彩増加に伴うキャラクターの細分化

第2シリーズ以降、主人公キャラクターに用いられる色彩が2色以上に増加したことから、一人のキャラクターが担当していた特徴を数人で分担しているのかという仮説の下、調査を進める。

以下がウェブサイトのキャラクター紹介ページを基に『プリキュア』全14シリーズよりキャラクターの特徴を抽出した表である。

表5. 出現キャラクターのカラーと特徴

色	特徴
茶色	活発・無鉄砲・おっちょこちょい・破天荒・頑固・ムードメーカー
黒色	おっとり・礼儀正しい・天然
黄色	元気・ドジ・お人よし・面倒見がいい・思いやりがある・好奇心・しっかり者・努力家・頑固・成績優秀・穏やか・天真爛漫・純粹・頑張り屋・謙虚・引っ込み思案
赤色	情熱的・面倒見がいい・大人びている・生真面目・常識人
紫色	気高い・上品・気まぐれ・秀才・クール・礼儀正しい・おせっかい・生真面目・意地っ張り・ツンデレ・繊細・学業優秀・ミステリアス・孤高
青色	自由奔放・気が強い・容姿端麗・文武両道・才色兼備・人見知り・清廉・真面目・古風・律儀・冷静沈着・おせっかい焼き・前向き・明るい・スポーツ万能・大人びている・責任感・使命感
桃色	お調子者・天然・努力家・元気・おせっかい焼き・奔放・スポーツ万能・寂しがりや・おっちょこちょい・負けず嫌い・引っ込み思案・素直・お人よし・礼儀正しい・勉強スポーツ×・生真面目・聡明・不器用・勉強運動が苦手
緑色	姉御肌・さわやか・博学・おっとり・のんびり・気弱
オレンジ色	努力家・臆病・好奇心旺盛・おっとり・計算高い・文武両道・情熱的・ノリがいい・しっかり者・運動神経あり・のんびり屋・引っ込み思案・内向的・自由奔放・社交性や協調性に乏しい

はじめに、髪色が茶色のキャラクターと黒のキャラクターの特徴を簡単にまとめると、黒色のキャラクターが、活発で男勝りなスポーツ少女の印象、黒髪のキャラクターは知的で容姿端麗かつ落ち着きのある印象を抱くことが分かった。『秘密戦隊ゴレンジャー』のキャラクターで考えると、熱血でリーダー格のレッド（赤）と、知的でクールな影でリーダーを支えるサブリーダーのブルー（青）の関係性と一致しているといえる。男児を対象としたゴレンジャーにしても、女兒を対象にしたプリキュアにしても、この2代リーダーは存在しているといえるのではないだろうか。

次に第2シリーズ以降のキャラクターを見てみる。第2シリーズで初めて登場したキャラクターが、黄色い髪色で引っ込み思案だが頭脳明晰で優しく謙虚なシャイニールミナスだ（図7を参照）。



図7. シャイニールミナス¹²

シャイニールミナスの登場により、新たに「引っ込み思案」「内気」というキャラクターが登場した。

第3シリーズでは、主人公は二人に減少した。しかし、シャイニールミナスが担当していた「内気」さはキュアイーグレット（紫）のキャラクターが担当するようになった。シャイニールミナスの特徴は消えず、生かされているのだ（図9を参照）。

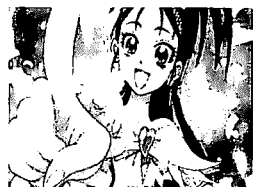


図8. キュアイーグレット¹³

第4シリーズでは、主人公キャラクターは5人に増加する。ここで新たに登場するキャラクターの特徴が、明るく好奇心旺盛なキュアドリーム（桃）、のんびり屋で読書好きなキュアミント（緑）と、そして大人っぽい常識人キュアレモネード（黄）だ（図9を参照）。

¹² 『ふたりはプリキュア MaxHeart.』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/precure_MH/

¹³ 『ふたりはプリキュア SprashStar.』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/precure_SS/



図9.キュアドリーム・キュアミント・キュアレモネード¹⁴

第4シリーズでは、男勝りなキャラクターをキュアルージュ（赤）が、容姿端麗頭脳明晰なキャラクターをキュアアクア（青）が担当している。先ほどの色彩印象調査と比較すると、「明るい」印象を抱くと回答した色彩は黄色だったのだが、ここでは桃色のキャラクターが担当していることが分かる。ここで、必ずしも色彩の印象が髪色に対応しているとは言えないという定理が生まれた。また、それまで2大リーダー的な存在がグループには必ず存在していたものが、第4シリーズ以降登場しなくなる。

第5シリーズでは、第4シリーズのキャラクターに加え、ミルキイローズ（紫）が登場する（図10を参照）。妖精が変身した姿のプリキュアと設定されており、存在自体が「ミステリアス」なことが特徴だ（図10を参照）。

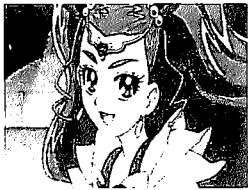


図10.ミルキイローズ¹⁵

第6シリーズでは、登場人物も舞台設定も大きく変化する。登場キャラクターは、活発で明るくスポーツも勉強も苦手なキュアピーチ（色素の薄い黄）、スポーツ万能で容姿端麗且つおしやれなキュアベリー（青）、のんびり屋で内気な優しいキュアパイン（オレンジ寄りの黄）、生真面目で健気なキュアパッション（桃）の4人だ。ここで分かることは、キャラクターが細分化されている点、そしてキャラクターの髪色にしても淡い色になっているという点だ。第6シリーズのキャラクターに関しては、色彩調査と完全一致したキャラクターの特徴ではないという事が分かる（図11を参照）。

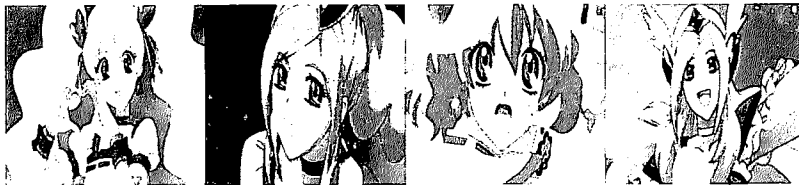


図11.キュアピーチ・キュアベリー・キュアパイン・キュアパッション¹⁶

¹⁴ 『Yes!プリキュア 5』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/yes_precure5/

¹⁵ 『Yes!プリキュア 5GoGo!』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/precure5_gogo/

¹⁶ 『フレッシュプリキュア』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/fresh_precure/

第7シリーズでは、キュアムーンライト（紫）以外、色彩印象調査により判明したデータと、登場キャラクターの特徴が一致していない点が多い。それまで内向的なキャラクターを担当していたのは黄だったのだが、第7シリーズでは桃色が担当、元気で明るいキャラクターを担当していた黄のポジションを青が、頭脳明晰なキャラクターを担当していた青のポジションを黄が担当するようになった。

第8シリーズでは、新たに「頑固」「努力家」「泣き虫」などの人間的な特徴を持つキャラクターが登場する。また、「スポーツ万能」と紹介されているキャラクターが重複しており、一人一人の特徴をかなり詳細に設定している点が特徴的である。キュアピート（紫）以外の3人は色彩の調査結果とは異なる特徴を持つことが第8シリーズで判明した（図12を参照）。

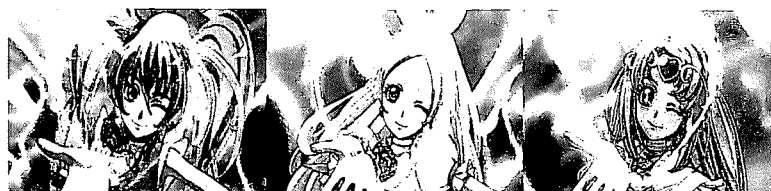


図12. キュアメロディ・キュアリズム・キュアミューズ¹⁷

第9シリーズでは、それまでのシリーズと比較して「妹キャラ」と呼ばれる存在が登場した。「妹キャラ」の登場に伴い、「あざとさ」「計算高い」役割を担当するキャラクターがうまれた。それが、キュアピース（黄）である。色彩調査結果との比較においては、緑と青以外データと一致していると言えない結果になった（図13を参照）。



図13. キュアハッピー・キュアサニー・キュアピース¹⁸

第10シリーズは、キャラクターの特徴の更なる細分化が行われたが、色彩調査結果と完全に一致するデータであった。穏やかな特徴に加え、「礼儀正しい」特徴をオレンジ色が担当するようになった。

第11シリーズでは、「内向的」な特徴を青と紫が担当するようになる。また、それまでミステリアスという特徴しか持たなかった紫が、青が担当していた「クール」な特徴も兼ねるようになった。

第12シリーズでは、4人中3人が色彩調査結果とキャラクターの特徴が一致した。桃色を担当するキャラクターに、「上品」という特徴が加わったのが他と異なる点だ。またキュアスカート（桃）の髪色には、赤寄りの桃が使用されている。髪色が一色に限らず表現されるようになったのはこの頃からだ。一人のキャラクターが他のキャラクターが担当していた特徴も兼ねるようになったことが第12シリーズで分かる（図14を参照）。

¹⁷ 『スイートプリキュア』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/suite_precure/

¹⁸ 『スマイルプリキュア』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/smile_precure/



図 14. キュアスカーレット¹⁹

第13シリーズでは、主人公はキュアミラクル（オレンジ寄りの黄）とキュアマジカル（紫寄りの青）に加え、準プリキュアと呼ばれるキュアフェリーチェ（桃と淡いエメラルド）が登場する。髪色をはっきりとした色から、二種類の色彩を合併したような色彩を使用することにより、キャラクターの特徴も2種類の特徴を合わせたものになった。キュアマジカル（紫寄りの青）が頭脳明晰でクールな特徴を持つことから、青と紫の応用キャラクターであることが分かる（図15を参照）。



図 15. キュアミラクル・キュアマジカル・キュアフェリーチェ²⁰

第14シリーズでは、キャラクターがこれまでで最大の6人に増加する。イラストが大幅に変化したにも関わらず、キャラクターに使用されている髪色と色彩調査の結果は大きく変化していない。ひとつだけ異なるキャラクターが、キュアジェラート（青）が情熱的な特徴だということだ。これまで一度も青をもつキャラクターが「情熱的」な印象を担当していたことがなかったことから、色に対する印象の変化があったのではないかと考える（図16を参照）。



図 16. キュアホイップ・キュアカスタード・キュアジェラート・キュアマカロン・キュアショコラ・キュアパルフェ²¹

7. おわりに

以上のことから、以下のことが分かった。

¹⁹ 『Go!プリンセスプリキュア』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/princess_precure/

²⁰ 『魔法使いプリキュア』 http://www.toei-anim.co.jp/tv/mahotsukai_precure/

²¹ 『キラキラ☆プリキュアアラモード』 <http://www.toei-anim.co.jp/tv/precure/>

まず一つめに、色彩の印象は男女で大きく変化することはなかったということである。特に、赤「熱血」、青「クール」、紫「ミステリアス」、黄「明るい」、緑「穏やか」、桃「優しい」の回答率はほぼ一致しており、男女間における色彩の印象差はみられなかった。しかし、オレンジ色「頭脳明晰」に関しては、同性の中でも回答にばらつきがみられた。また、今回のアンケート調査は、19歳から22歳の学生を対象としたため、この世代が幼い頃視聴していた『プリキュア』と、今の幼児が視聴する「プリキュア」では色彩に対する印象が異なる。このことから、色彩に対する印象も時代が経つに従い、少しずつ変化しているという可能性がある。

二つ目に、色彩とキャラクターのもつ性格的特徴は、初代プリキュアのキャラクターの特徴を生かしつつ、時代が経つにつれ使用色彩の増加に伴い細分化されたということだ。はじめのころは、「活発」「頭脳明晰」「スポーツ万能」「天然」といったいっぺんの特徴付けのみでキャラクターの特徴が設定されていた。しだいに、「泣き虫」「読書好き」「おしゃれ」といったさらに細かいキャラクター設定がされるようになった。髪色の2色利用などにより、一人のキャラクターが担当する特徴も増加する傾向がみられた。

三つ目に、『秘密戦隊ゴレンジャー』の頃のメインカラーであった赤色・黄色・緑色・桃色・青色に対する印象は今もなお深く我々に根付いているということだ。カラーテレビが浸透したところからの印象は今もなお戦隊ものの色使用において非常に重要な役割を担っているということが分かる。

今後の課題としては、さらに明確な色に対する印象を調査すべく、選択項目の増加または、色に対する印象を被験者に直接考えてもらい回答させるというアンケート調査を行いたいと考える。

参考文献

- ・近江源太郎 (2009) 『“よい色”の科学なぜ、その色に決めたのか』日本規格協会 第6章 6.1.
- ・宮田久美子 (2014) 『暮らしの中の色彩学入門』新曜社.
- ・高橋美佐子 (2015) 「日本語の色彩感覚：スーパー戦隊シリーズを中心に」『日本大学ノート』第50号, pp. 1-22.
- ・土居元紀、森美咲、酒井英樹 (2014) 「アニメーションキャラクターの髪色の与える性格印象」『日本色彩学会誌』第38号, pp. 252-253.